

(当院における降下性壊死性縦隔炎の 9 症例) に関する研究のお知らせ

帝京大学医学部附属病院では以下の研究を行います。

本研究は、倫理委員会の審査を受け承認された後に、関連の研究倫理指針に従って実施されるものです。

研究期間：2019年8月13日～2019年10月31日

〔研究課題〕

当院における降下性壊死性縦隔炎の 9 症例

〔研究目的〕 〔研究意義〕

降下性壊死性縦隔炎 (Descending Necrotizing Mediastinitis : DNM) は歯科口腔・咽喉頭領域の感染を契機とし、降下性に縦隔まで炎症が波及した死亡率が 5~40%の重篤な疾患であることが知られています。DNM に対する治療として、頸部ドレナージ+胸腔経路縦隔ドレナージが有効ではありますが、侵襲も大きく周術期のコントロールを行うにあたって負担となります。この論文の目的は、最小限の侵襲的処置に焦点をあてた DNM に対する有効な治療方法を検討することです。

〔対象・研究方法〕

帝京大学病院で、2007年～2017年の間に DNM に対し外科的加療を施行した 9 症例を後方視的に調べ検討します。観察研究であり全症例において周術期から終診となるまで行います。薬剤投薬の介入はありません。周術期のルーチン検査 (採血, レントゲン検査, CT 検査, 各種培養) を行い、縦隔炎治療が終了するまで観察します。

〔研究機関名〕

帝京大学医学部附属病院

〔個人情報の取り扱い〕

「臨床研究における記録保管に関する標準業務手順書」に従います。個人情報については匿名化を行います。研修終了後は帝京大学臨床研究センターにて 10 年保管の後、廃棄いたします。

対象となる患者様で、ご自身の検査結果などの研究への使用をご承諾いただけない場合や、研究についてより詳しい内容をお知りになりたい場合は、下記の問い合わせ先までご連絡下さい。

ご協力よろしくお願い申し上げます。

問 い 合 わ せ 先

研究責任者:坂尾 幸則 呼吸器外科教授

研究分担者: 塚 崇 大学院生

所属: 帝京大学医学部外科学講座 坂尾(ysakao0707@gmail.com),

塚(takashisakai@gmail.com)

住所:東京都板橋区加賀 2-11-1 TEL:0339641211(代表) [内線 7961 塚]